

第3回「区域区分の見直しのあり方に関する専門小委員会」 議事概要

議事内容		主な意見
1 開会	(1) 開会	
2 議事	(1) 第2回委員会での意見と対応	
	(2) 区域区分見直しの基本方針(素案)について	<p>○いろいろな施策等を動員しながら、コンパクトシティ化を長期的に実行していかなければならない。</p> <p>○コンパクトシティを目指すのであれば、数字として成果を出していくことはある程度必要である。(例えば、市街化区域面積が確実に減っているデータや、商業や人口の集積が進んでいることが分かるデータ)</p> <p>○客観的評価指標による評価の重みづけは、パターンA(安全性50、利便性30、居住状況20)を優先度の高いものとして扱う。</p> <p>○(逆線引きの)緑地化のプロセスとして、跡地をどうするかという問題と、生態系の配慮は重要である。</p> <p>○(逆線引き地域において)特に使わないことが確定しているような建物の除却は積極的に進めて頂きたい。</p> <p>○逆線を引くと資産価値が下がるのではないかという不安があると思う。⇒●(対象者の方には、)しっかりと説明をして、ご理解を頂くよう努めたい。</p> <p>○接道条件が悪くて、空き家や空き地が増加しているところについては、(逆線引きを)飛び地でかけていくような策も必要だと思う。</p> <p>●ご議論いただいたことをしっかりと踏まえながら、地元説明に努める。</p>
	(3) 今後のスケジュールについて	
4 閉会		

○委員意見 ●事務局回答